在校生の皆さまへ　保護者の皆さまへ

生協職員・講座講師が同行するので
安心・安全

生協の「シドニー異文化体験ツアー付英語コミュニケーション講座」のご案内

上級生向け

※1年次に受講された方へお送りしていた場合はご容赦ください。

こんな方にお勧めします!!

- 大学入学後、海外体験がない方
- 海外体験したいけど、ちょっと不安・・・な方
- 海外体験したけど、どうもうまくいかなかったな、という方

単位認定

広島大学のお勧め

2017年より、上級生向け講座を開始しました

広島大学の「海外フィールドスタディ・アドバンスト」の2単位が認定されます。

※STARTプログラム(=海外フィールドスタディ)の単位とは別になります。従いましてSTARTに参加された方も受講できます

実践的な(英語)コミュニケーション力を身に付けて、シドニーで実際に異文化体験して、後期もモチベーション高く英語力を磨き続けます。そしてその学びに「単位」が認定されます。

TOEICの点数もアップ!

2回のTOEIC-IPを受験した受講生の
- 80%が点数UP
- アップの平均で85点UP
  最高は270点UP
  (17年度受講生実績)

〒739-0046　広島県東広島市鏡山1-4-5　広島大学会館内
広島大学消費生活協同組合

海外体験&英語講座

英語でコミュニケーションが出来るようになりたい!

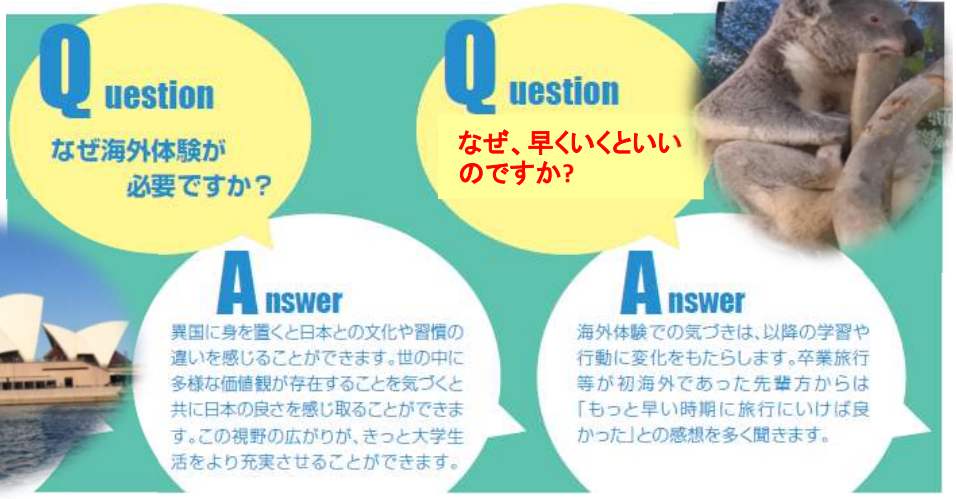
自分の可能性を広げるために・・・活躍の舞台は世界中に

グローバル化していく世界で重要なことは、世界には自分たちと異なる文化や価値観をもつたくさんの人々がいることを理解(異文化理解)し、互いにその文化や価値観を尊重していくことです。そのためには互いにコミュニケーションをとるということです。そのためのツールが英語であり、実際に世界共通語として使われています。

否応なしに日本は世界と繋がっていきます。英語を使えるということは、活躍の舞台を世界中に広げるということ、つまり将来の選択の幅を大きく広げることです。一方で国内で様々に活躍する場合にも、グローバル化していく世界とは濃密な関係性を持つことになります。そこではやはり使える英語が非常に重要になっていきます。

シドニー異文化体験ツアーで訪れた広島大学の提携校ニューサウスウェールズ大学(UNSW)。
UNSWの学生たちとの交流では大変大きな刺激を受けました

まず、「体験」しよう!



上級生向け

シドニー異文化体験ツアー(8日間)付 英語コミュニケーション講座

シドニー異文化体験ツアーを前提に少人数で実践的な英語コミュニケーションを学びます。

- 講座90分×20回(ガイダンス含む、前期11回、後期9回)
- TOEIC-IPテスト2回受験(4月/12月)
- オリジナル教材
- シドニー体験ツアー

※上級生だけのクラスです。
※開講時間は毎週火曜日　18時15分～19時45分　(予定)
※開講期間は　4月16日～12月17日　(予定)
ただし試験期間中、夏休中は除く

シドニーツアーは8月下旬～9月上旬出発

限定40名 **318,000円(税込)**
(定員になり次第締め切らせていただきます)

講座20回とTOEIC-IPテスト2回受験、シドニー体験ツアー予定旅行代金(羽田空港発着・燃料サーチャージ・空港諸税込み)。ツアーの正式な申し込み手続きは5月中旬に行っていただきます。ツアー料金は5月初旬までに確定します。万が一、差額が発生しましたら追加で請求、もしくは返金させていただきます。

シドニー体験ツアー付 英語コミュニケーション講座

上級生向け

シドニー異文化体験ツアー 詳細

ツアー出発予定日
8月下旬～9月上旬

2019年度ツアーは4月中旬に詳細確定予定
(下記は昨年の例)

1日目	羽田空港着【機中泊】
2日目	シドニー国際空港着 シドニーを知る現地ツアー 現地に移住した日本人が語る・夕食交流会
3日目	UNSW(ニューサウスウェルス大学訪問 (現地学生と交流)
4日目	ユダヤ博物館・教会訪問、(ガイドはすべて英語です) 持ち寄り夕食会
5日目	選択オプショナルツアー (保育園訪問or アボリジニーツアー)
6日目	グループ別フリータイム
7日目	まとめの会 シドニー国際空港発 【機中泊】
8日目	羽田空港着

☑ 講座で修得したことを実践

☑ 現地で異文化間交流を実感

現地在住の日本人に聞く

シドニー在住の日本人の方から外国でのコミュニケーションについてレクチャー。また、日本との違いについても実体験をもとに語っていただきます。

英語でのガイドツアー

シドニーの町並みや歴史史跡などを、現地外国人のガイドから全て英語で説明を受けながら巡ります。どれだけ聞き取れるか、理解できるかを試してください。

自ら考え行動するフリータイム

計画性、主体性、積極性の実践場。少人数グループで現地をまわります。道を訪ねたりレストランで食事をしたり、どんどん話しかけることに重点をおきます。

Point 1
英語講座受講生のために作られた特別ツアー!

せっかく講座で英語を学んでいるのだから実際に英語を使ってみたい、どうせなら海外に行って英語力も試してみたい—そう思う人は少なくないはず。これはそんな皆さんのためのツアーです。

Point 3
いろんな人たちと深く関われる!

単なる観光で訪れるのとは違い、現地で暮らし働く人たちや大学生との触れ合いの機会があります。旅行英会話以上の英語を使ういいチャンスです! 現地に移住した日本人の方の貴重なお話を聞く機会もあります。また、8日間の行程の中でいろいろな大学からの参加者・講座講師の先生とも交流することになります。これもまた1つの「異文化」コミュニケーションです。

Point 2
フリータイムも充実、実体験しながら学べる!

グループ行動でのフリータイムも十分にあり、事前に自分たちで行動計画を立てて行動します。シドニー周辺の数ある魅力的なスポットから自分たちだけのプランを作りましょう。講座で学んできたことを、単なる知識にとどめず現地で実践・体験してみるチャンスです。英語力の力試しになります。

Point 4 安心!!

羽田空港からの往復は生協職員が同行、現地には講座の講師がいますので、海外が初めての方でも安心です! 初めての方にこそ、お勧め!!

シドニー体験ツアー付 英語コミュニケーション講座

上級生向け

体験型講座だから、仲間や先輩と楽しみながら続けられます。

講座90分×20回(ガイダンス含む、前期11回、後期9回)

講師

英語力に長けて、かつ英語を使って仕事をされてきた専門の英語講師による講座です。講義形式の座学だけではなく、実際の海外での文化、習慣なども体験します。

×

学生リーダー

専門研修を受けた学生スタッフの多くはこの講座の受講生だった学生たちです。「英語が好き」「海外体験が豊富」なスタッフが楽しい雰囲気を作り、皆さんの学びをサポートします。

×

セルフスタディ

週に1度の講座だけで英語力をつけるには不十分です。専門の教材を使ったセルフスタディ(宿題)を毎週用意し、日々の学習についても担当講師や先輩が相談にのります。

講座の一年

〈前期〉ガイダンス1回+講座10回

- 4月 ガイダンス TOEIC受験
- 7月 前期講座終了
- **夏休み** シドニー異文化体験ツアー(8日間)
- 〈後期〉ガイダンス1回+講座8回
- 10月 後期講座開始
- 12月 後期講座終了 TOEIC受験
- **新しい体験へ**

英語学習法を知り尽くした鈴木カオル氏が講座を監修

プログラム監修 鈴木 カオル氏

米国の大学を卒業後、通訳・翻訳・など英語関係の仕事に従事。その他、様々な企業で英語学習教材やプログラムの企画開発・制作を担当。通訳案内業試験の元面接官。TOEICを実施団体で企業内研修の開発など、TOEICの普及に携わる。また、日本初の英語学習アドバイザー資格認定制度を企画立案。著書多数。現在、広島大学生協の他、中四国8大学の各大学生協で英語講座を監修。

英語講座を受講して

総合科学部4年 M

英語を話せるようになりたい！という気持ちからこの英語講座を受講しました。この講座は受験英語しか知らなかった私に、様々なアクティビティを通して、実際に使える「生きた英語」を学ぶ機会をたくさん与えてくれました。受講後、アメリカに1年間留学しましたが、そこでは言葉や文化の壁にぶつかることが本当にたくさんありました。しかし、その度に英語講座で身についた会話力や知識に何度も助けられ、その経験が私をさらに成長させてくれたと思います。講座を通して自分と同じような目標を持った多くの仲間と出会い切磋琢磨する中で、英語の面でも人としても成長することができるのがこの講座の魅力だと思います。

講座ではどんなことをするの？

英語を使ってグループワークをしたり、役立つ学習法をご紹介したり。総合的に英語によるコミュニケーションを学べるカリキュラムをご用意しています。

英語によるコミュニケーション力が身に付くから、結果的に、TOEICスコアアップへ結びつきます。

シドニー体験ツアー付 英語コミュニケーション講座

上級生向け

1年間講座を受けてきて、12月最後の講座の後の受講生のみんなの感想です。

「初めのころより話せるようになっていてよかった。これからも勉強を続けていきたい。楽しかったです。1年間ありがとうございました。（こうすけ）」

「久しぶりに英文を頭で考えて話したなと思う。長い間お世話になりました。やっぱり始まる前よりすらすらでてくるようになりました。ある程度の英語力が向上したように思います。これからも積極的に使っていこうと思う（りょうたろう）」

「ラスト楽しかったです。単語の量とか、話すのが少しは上達したと思います。シドニーでいろいろあり、いろんなところがタフになりました。これからもタフの精神で、積極的に英語を勉強したいです。（あやの）」

「最後まで気を抜かずに頑張った！1年間ありがとうございました。楽しかったです。英語の楽しさが分かったので旅行行ったときに積極的に外国の方に話しかけに行って会話を楽しみたいです。最初は不安だったけど今では楽しめるようになれて良かったです。（りお）」

「1分間は思ったよりも短かったです。4月よりは話せるようになったのかなと思いました。最初は知り合いもいない状態でしたが、こんなに仲良くなってかつ英語力も上がるなんてとても素敵な1年間でした。2年で参加するのは遅いのかなと思っていたのですが、全然そんなことなくてとっても楽しい1年でした。ありがとうございました！！（まい）」

「将来の夢について改めて考えるきっかけになった。毎週英語に触れられたのが良かった。（ほのか）」

「最後の講座で自分の英語がこの1年でどれだけ成長したのかを振り返ることができた。これからも続けて頑張っていきたい。楽しんで英語を学べるようにとてもサポートが厚く、1年間あっという間だった。ありがとうございました。（たくみ）」

「ラストしっかり楽しめた！！たくさん友達ができたし、良い経験ができた。ちえがおもしろくて可愛かった！！Thank you！！英語にもたくさん触れることができてカになった。（ときの）」

「最後の講座楽しかった。自分の将来について英語で話すのはとても難しかった。前よりもちゃんと思ったことを話せるようになった気がします。でもまだまだだと思うのでもっと勉強したいです。（みか）」

「その場でスピーチは少し焦ったけどがんばりました。1年間英語に触れることができて良かったです。シドニーの経験を活かして、積極的に英語を使う機会を増やしたいです！（やよい）」

シドニー体験ツアー付 英語コミュニケーション講座

上級生向け

シドニー異文化体験ツアーは広島大学生協を含む中四国の大学生協の共同企画で、2018年夏までに9回実施しています。2018年夏は、中四国以外からの参加もあって17大学から514名が参加し、19名の英語講座の講師と、29名の講座担当生協職員が現地でツアーのサポートをしました。広島大学からの参加者は125名でした。

このツアーに参加した学生は、五感で異文化を感じ、人と触れ合い、自身の語学力を実感するなどして、価値観や人生観を揺さぶられる経験をします。英語学習ということだけではなく、大学生活、そして将来を自分の力で開くきっかけとして、まず最初の海外体験として参加されることをお勧めします。

現地ガイドの英語での説明でシドニー歴史地区を巡る

◆上級生向け講座は、1年生の時に海外体験をすることができなかった2年生に、できるだけ早い時期に海外体験をするチャンスを作れないか、という大学からの要請もあり2017年より開始しました。早い時期に海外体験をしてほしい、との大学の思いは、生協がこの講座の実施する動機と全く同じです。

17年・18年夏　参加した2年生の受講生の感想の一部

自分の言いたいことを伝えたいという気持ち

17年参加

経済学部　若松　杏奈さん

このシドニーツアーは私にとって得るものの大きいとても充実した旅となりました。

私はもともと海外の文化などには興味はあったものの英語力にはあまり自信がなく、始まる前は正直不安しかありませんでした。しかしシドニーに到着すると、来てよかったと思える貴重な体験の連続でした。

特に印象深かった体験は、ニューサウスウェールズ大学で日本語の授業に参加したことと、ユダヤ博物館でのサバイバーの方のお話です。初めて海外の日本語の授業を見たのはとても新鮮な体験でした。学生さんたちが日本の学生よりもはるかに意欲的で、私の日本語からも何かを習得しようとしてくれていました。また、ユダヤ人のサバイバーの方のお話は、体験したからこそ私たちに伝えたいという熱意にとても感動しました。

これらの体験を通し感じたことは、コミュニケーションには言葉の壁なんて関係ないということです。他国の言葉が完璧に話せなくても、その国への知識があればお互いを理解することができる、英語力はもちろん必要ではあるけれど、大切なのは、伝えたい、理解したいという気持ちであると実感しました。シドニーには驚くほど様々な人種の人たちがいて、当然言葉の壁はあり、しかし互いを理解しながら生活しています。今回シドニーでたくさん親切な人に出会ったり、日本に興味を持っている人に出会ったりして、私たちが歓迎してもらえるのは異文化についての理解があるからだと感じました。ツアーを終えて、私が成長できたと感じるのは英語力ではなく、自分の言いたいことを伝えたいという気持ちの面です。英語でコミュニケーションをとることに怖さは無くなったし面白さも知ったので、次に海外に行く時はもっとしゃべって相手の言っていることも理解したいと思いました。

この貴重な機会を作ってくださった皆さん、ありがとうございました。

若松さんベストショット!

コミュニケーションは伝えようとする気持ちが重要

17年参加

総合科学部　安永　裕貴さん

私がシドニー異文化体験ツアーに参加しようときめたきっかけは、主に大学生の間に海外に行ってみたいと思っていたことと、総合科学部で異文化に関する授業を多くとっていたので実際に異文化を体験してみたいという思いがあったということだ。私はこのシドニー異文化体験ツアーを通して、本当にたくさんのことを学ぶことができた。その中でも特に大切だと思ったことは、コミュニケーションは言語能力だけでなく伝えようとする気持ちが重要であるということだ。私はシドニーに到着してばかりの頃は、日本との様々な違いやネイティブの話す英語がほとんど聞き取れないことに戸惑い、なかなか現地の人々に自分から話しかけることができなかった。しかし、山本さんのコミュニケーションは積極性が大事であるという話を聞いてから、せっかくシドニーに来たのに現地の方とコミュニケーションをとったり、異文化を実際に体験したりできる機会を逃すのはもったいないと感じ、それから少しずつではあるが自分からコミュニケーションをとれるようになっていった。ニューサウスウェールズ大学訪問では同年代の学生と話したり、保育園訪問では先生から話を聞いたり、様々な貴重な経験をすることができた。また、現地の方とのコミュニケーションを通してジェスチャーやアイコンタクトが重要であるということにも改めて気付くことができた。最初は初めて海外に行くということもあり不安だったが、個人でもグループでもとても充実した１週間を過ごすことができ、このツアーに参加してよかったと思っている。シドニーで学んだことをこれからの学校生活でも活かしていきたい。

安永さんベストショット!

案外何とかなるものだと…・ツアーを経験して分かった

18年参加

文学部　森本　麻衣さん

高校の修学旅行で台湾に行って以来、2回目の海外はオーストラリアだった。半年間、講座を共に受けてきた友人たちとシドニーに行くのが本当に楽しみで仕方なかった。

いざ、シドニーに到着してみると、シドニー訛りがきつい英語は正直私の知っている言語ではないような気さえした。しかし、案外何とかなるものであるということも今回のツアーを経験して分かった。こちらから、ゆっくり話してもらえるように頼んだり、分からないところは聞き返したり、積極的に行動できれば、現地の人も優しく対応してくれた。たどたどしい英語しか話せない日本人相手に、優しく笑顔で接してくれる人がたくさんいたことで、英語を話すことに気後れせずにいられた。もちろん、最初のうちは英語で話をするということ自体が難しく、気力のいる活動だったが、最終日には班の中でも英語で話そうと試みるなど、英語で話すことが自然に感じられた。いちいち考えて喋っていたのでは現地の人の話すスピードに追い付けないため、日本語で答えを考えて、それを英訳しながら話すという癖が抜けた。ただ、自分の語彙力の乏しさを痛感するきっかけにもなった。英語を話す時に必要なのはやはり単語だと感じた。単語を知らないことには説明してもらっても理解できないし、質問することもできない。これからはとにかく使える単語を増やしていきたい。

森本さんベストショット!

今回のツアーに参加したことで、自分の英語が想像以上に通じることが分かった。知らない人に質問する度胸もついた。自分の弱点も見えた。正直、ここには書ききれないほどの学びがあった8日間だった。こんな機会を作ってくださった関係者の皆様、chie、家族、そして一緒にツアーに行った仲間に感謝している。

ロックスツアー

持ち寄り夕食会

違いが認められている食事の風景

17年参加

法学部　森田　聖希さん

シドニーで過ごした6日間では、机に向かって勉強していてはわからないたくさんの経験ができました。ユダヤ博物館での歴史学習はもちろんですが、特に自分にとって貴重な体験だったのは幼稚園訪問や自由行動で実際に現地の人と交流できたことでした。道を尋ねた時、エレベーターで乗り合わせた時、レストランで食事を待っている間などほんの短い時間でも現地の人は私たちに話しかけてくれました。でも未だ英語が思うように使いこなせない私では、道を尋ねるなどの目的がない日常会話を弾ませることができずとても歯がゆかったです。それでも拙い英語の受け答えに優しく対応してくれる現地の人にはほっとしたと同時に、『教科書に載っていない英語』の重要性を感じました。

幼稚園の子供たちは想像していたより活発でした。小さい子供相手だと会話が成立しないのは日本も海外も同じでしたが、その分言葉がなくてもかくれんぼや追いかけっこで楽しく交流できたと思います。みんなと同じであることを重要視する日本の幼稚園とは違い、宗教を理由に食べ物・飲み物の違いが認められている食事の風景はとても新鮮な風景でした。シドニーには6日間いましたが、それで私の英語力

森田さんベストショット!

が上がったということはないと思います。しかし英語で話すことを怖がることはなくなりました。今まで嫌いだった英語をもっと使いこなせるようになりたいとも思いました。まだ未熟な英語力でも学べることがたくさんあったシドニー、今度は英語をもっと使いこなせるようになって訪れたいと思います。

英語を通じたコミュニケーションの楽しさを知ることができた

18年参加

生物生産学部　小林　聡史さん

私は今まで、ただ義務感にとらわれながら漫然と英語を勉強してきました。しかしこのツアーで自分の弱点、自分にとっての英語を学ぶ意味、海外への関心が得られたことで、後期の英語講座をより一層モチベーション高く、充実したものにできるのではないか、と思いました。

私は自分の弱点がリスニング力であることを強く感じ、これからの勉強に繋げたいと思えました。英語学習はリーディング、ライティング、スピーキング、リスニングと多方面の学習が必要であり、そのために今まで私は外国人の方の円滑にコミュニケーションを取るために何を優先して勉強すればいいのかわかりませんでしたが、外国人の方との交流で特に相手の言っていることを理解することが最優先事項だと痛感しました。

海外に興味が持てたというのもこのツアーでの大きな収穫だと感じます。実際に行ってみなければわからない海外の空気を感じることができたし、実際に話してみないとわからない英語を通じたコミュニケーションの楽しさを知ることができました。もっと楽しみたいと思ってする勉強は今までよりも効率が良く、楽しく感じます。

小林さんベストショット!

今まで海外に行こうと思っていながらも、海外に行くことへの不安から一歩踏み出せなかった自分をこのツアーが後押ししてくれたように思います。後期からはこのモチベーションのまま、さらなる英語力向上を目指したいです

宿泊は　Sydney Central YHA

シドニー・セントラル駅のすぐ近く! どこに行くにも、とっても便利!

何とかコミュニケーションをとれるものだとなと実感

18年参加

生物生産学部　岸野　遼楠さん

今回のシドニーでの旅は、ハプニングだらけでした。目的地の大学とは違う大学に行ってしまったり、船の時間の関係で予定を大幅に変更せざるを得なくなったり、迷子になったりと、本当にたくさんの出来事がありました。でもそのたびに、グループのメンバーや先生やシドニーの町の人など、たくさんの人々に支えられて乗り越えていくことが出来ました。たくさん周りの人たちに迷惑をかけることにはなってしまったけど、ハプニングのおかげで体験できたこともたくさんあるので、全部がいい思い出です。

そんなたくさんのハプニングを乗り越えられたのは、まわりの人のやさしさに支えられてきたからだと思います。道が分からなくなったりすると、シドニーの町の人に聞いて回りましたが、皆すごく丁寧にやさしく教えてくれました。シドニーにいる間の最後の方は、それが当たり前のように感じていましたが、日本で外国人に道を聞かれたときのことを考えると、それはとてもすごい事なのではないかと感じました。シドニーでたくさんの人に助けてもらった経験を忘れずに、これから外国人に話しかけられたときは、避けずにしっかりと話に耳を傾けるようになりたいです。

英語に関しては、人と対面して話すときは単語をつなげたり、ボディーランゲージを使ったりして何とかコミュニケーションをとれるものだなと実感しました。しかし、単語をつなげるだけでは深い内容の話はできないので、すぐ使えるようなフレーズをもっとたくさん身に付けていきたいと感じました。

岸野さんベストショット!

Al Zahra College 訪問

17年参加

法学部　有岡　栞里さん　教育学部　松本　ユミさん
文学部　白築　真士さん　総合科学部　姫野　一陽さん

私たちは、Al Zahra Collegeという学校にお邪魔し、中高生と交流しました。

生徒さんたちとお話しして感じたことは、「信じる宗教は違っても彼らは普通の高校生で日本の子達とあまり変わらない」ということです。本音を言うと今回の異文化体験ツアーで学生達と交流するまでは最近の中東情勢などからイスラム教に対して暗く閉鎖的なイメージを抱いていました。しかしそれは勝手な先入観で実際にはそんなことはありませんでした。実際に学生と話してみると非常にフレンドリーで優しい笑顔を何度も見せてくれるし、私達と共通した趣味を持っていたりしました。彼らも私達と何も変わらない若者でした。最近は中東情勢悪化の影響からイスラム教自体が悪いかのようにメディアでも報道されることが多いです。そのため、交流前の私達のようにイスラム教に対してネガティブなイメージを抱いている人が多いと思います。しかし現実はそんなことはありません。それを伝えられるのは私達のように実際に交流して触れ合った人達だと思います。だからこそ、もし私達の周りにイスラム教に対してネガティブなイメージを持った人がいたら、今回のツアーでの経験をもとに、本当は私達と全く変わらないということを伝えたいです。

ポジティブになれたのは、凄い経験をしたと感じています

18年参加

理学部　安田　勝成さん

　このツアーを通して、自分の中で大きく変化したことについて述べます。もともと私は英語がとても苦手で、さらに人見知りで、6日間では何も変わらないだろう、外国人と話せるようにはならないだろう、と思っていました。シドニーに行ってから1日目2日目は、全然積極的ではなく、外国人と話すのが怖く、目を合わすことができませんでした。目的地までの道が分からなくなった時も、ほかの班員やグーグルマップに頼っていました。しかし、現地の人のやさしさやフレンドリーな雰囲気に触れ、なんとか頑張ったら自分の言いたいことも伝えられることに気づき、だんだんと話すことできるようになっていきました。4日目5日目からは、逆に話したいと思うようになり、スーパーでオリーブオイルが好きなおじいさんと仲良くなったり、お土産を買うときに値切ってみたりしました。このツアーを通して、考え方が大きく変わり、外国人と話せないだろうと思っていましたがしゃべりたいと思うようになりました。更に、何も変わらないだろうと思っていたがやってみるとできたりそのものの印象が変わったりすることが分かり、とてもアクティブになったのではないかと思います。

　しかし、できなかったこともたくさんありました。ロックスツアーやアボリジナルツアーでは、周りの人たちはうなずいているのに、自分は全く理解できていない時が多くありました。他にも、店員さんとはなすときに商品の説明をしてもらっても聞き取れないことがあり、

安田さんベストショット!

自分の英語力のなさを痛感しました。しかし、以前は英語を勉強しなければならないと思っていましたが、勉強したい、上達したいと思うようになりました。もともとネガティブな自分がこんなにもポジティブになれたのは、凄い経験をしたと感じています。

　このツアーを通して、英語の面に関しても、自分の性格に関しても、考え方が大きく変わる経験をすることができました。企画してくださった方、同伴してくださった方、仲良くしてくれた人に感謝したいです。

価値観が少し変わり、視野も広げることができた

18年参加

法学部　大橋　常乃さん

　今回シドニー異文化体験ツアーに参加したことは、私にとってとても貴重な経験となり、また、良い刺激となったと思います。始めは、慣れないメンバー、慣れない地でうまくやっていけるか正直不安でしたが、Chieをはじめ、グループのメンバーや現地の人々、現地の大学生など、たくさんの人のやさしさに助けられたことで、人との出会いや関わり合いのすばらしさについて再認識できたことが、本当に良かったです。そのおかげで、このツアーを存分に楽しみ、余すことなく満喫できたことがなによりの喜びです。

　英語面に関しては、うまく話せないなりにも、ジェスチャーや単語を使って外国人とコミュニケーションをとるということに抵抗がなくなったことは大きな成長だと思います。しかし、それと同時に、うまく伝えられないもどかしさ、ネイティブのスピードについていけない悔しさを身に染みて感じ、もっと自然に英語を話せたらどんなにいいだろうと思いました。今までは、「しなければいけない」という受け身の気持ちで英語を勉強していたけど、このツアーを通して英語を「学びたい」という能動的な気持ちが生まれたので、これからは毎日少しでも英語に触れて、楽しんで英語を学びたいと

大橋さんベストショット!

思います。

　今回のツアーで海外の空気、食べ物、人々に触れ、日本では味わえないたくさんの体験をして、価値観が少し変わり、視野も広げることができたと思います。海外に出ると、その国の良さはもちろん日本の良さも見えてくるので、それもまた素晴らしいと感じました。シドニーで学んだことを自分の中に閉じ込めておくのではなく、どんどんアウトプットしていき、次につなげていきたいと思います。

一番に思い出すのは、自分から積極的に行動した場面

18年参加

教育学部　藤井　満里奈さん

私はこのツアーに参加するまでは外国に行ったことがなく、外国に対してとても距離を感じていて、漠然と海外に対する恐怖心もありました。実際、ツアーの前日は緊張であまり眠れず、楽しみというよりはとても不安で少し憂鬱になってしまっていました。ですが、実際に行ってみると、一緒に行った仲間、ちえさんやよりさん、現地の方々の優しさに支えられ、ほとんど不安を感じず楽しむことができました。本当に感謝しています。

ツアーを通して楽しかった思い出は沢山ありますが、やはり一番に思い出すのは自分から積極的に行動した場面です。大学訪問の際に発表したこと、自動販売機の使い方が分からなくて現地の方に尋ねたこと、お店で商品について質問したこと、、、どれも勇気のいることでしたが、自分の英語をネイティブの方に理解してもらえたことが嬉しかったし、自信になりました。

一方、反省点もありました。特に、リスニング力がもっとあればなあと後悔しました。ロックスツアーやユダヤ博物館ツアー、オペラハウスツアーなど、理解したいという強い気持ちがあるのにガイドさんの英語を聞き取れない部分があって深い理解につながらなかった場面が多くありました。スピーキングの際は自分が知っている単語や文法を使えばいいので楽ですが、リスニングは全部が自分の知っている単語や文法というわけではないのでもっと勉強を頑張らなければと思いました。

藤井さんベストショット!

凝縮された体験の濃さ

講座講師　大角　千恵 先生

2度目のシドニーで最も印象深かったことは、学生たちが大きく成長を遂げていったことだった。各々、現地で経験したことは異なるだろう。その中で気付いたこと、得たことは、海外という場ならではだったのではないだろうか。

グループメンバーと協力しながら計画を立て、異国で自らの足で歩き、目的地に辿り着く。日本ではできそうで、できない経験が、シドニーでは満載だ。日本とは違う空気の中、大冒険を経た学生たちを毎晩、私はホステルで迎えた。一人一人の表情は達成、満足、疲労、安堵・・・　教室では見られない学生たちの顔に触れるのは新鮮でもあり、楽しみでもあった。そして気がつけば一回りも二回りも学生たちは逞しくなっていた。

学生グループとビーチに行った時のこと。ウォールペインティングをしている男性を見かけた。強面のそのおじさんと目を合わせないように、通り過ぎようとしていた私をしり目に、学生が話しかけていたのには驚いた。また、ツアーや大学訪問の際には、どの学生も力強く握手を交わし、目を見て、自信たっぷりに自己紹介をしていた。たったこの間まで、私が差し出す右手を弱々しく握り返し、消えそうな声で“Hi”と言っていた(言わされていた？！)学生たちが、である。

ツアーを通して、学生たちは自らの中の無限の可能性に気付いてくれたことだろう。シドニーで感じたこと、身に付けたことが今後、頼もしく成長した学生たちの未来を切り開く力となるに違いない、と感じさせてくれたツアーだった。

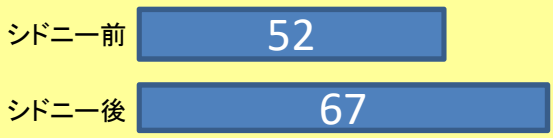
グルーバル時代に生きる

～体験が意識を変える～

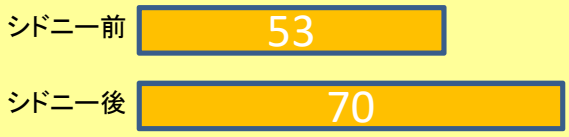
広島大学が実施するBEVI-J (Beliefs, Events and Value Inventory Japanese version)という調査に、シドニー出発前と帰国後に計2回回答していただきました。

BEVI-Jは、アメリカで開発された、臨床心理学に基づくグローバル化に関するwebテストです。(下記は、そのテスト結果の一部、2017年度)

Sociocultural Openness



Global Resonance



このテスト結果からは、意識、考え方の明らかな変化が確認されます。講座およびシドニーでの体験が文化的多様性の受容、グローバルな視点への共鳴などを育んでいるのがわかります。

すばらしい体験をしよう!

ツアーでの経験や感じたことを忘れずにこれからも頑張っていく

18年参加

総合科学部　長尾　海香さん

シドニーツアーを終えて、私はこの夏に本当に素敵な思い出を作ることができたなと思います。海外に行ったことのなかった私にとって1週間も海外に滞在することは不安が大きかったし、出発する前は楽しみな気持ちがありつつも行きたくないなあという気持ちもありました。でもせっかく行くからには行く前の自分よりも成長することを目標に1週間を過ごしました。

私がこのツアーで最も成長できたと思えることは、英語に対するモチベーションが上がったことだと思います。はじめは、飛行機に搭乗する際にCAさんが外国人であったことに驚き、話しかけたくても中々勇気が出ず、オーストラリアに到着してからもホテルの場所がわからずにうろうろしていました。でも、そのときに現地の方が話しかけてくださり、そこで英語を使ってみると自分の英語が伝わったことの嬉しさや使うことに対する楽しさ、そして自信にもつながりました。その後のグループ行動では行きたいところと最寄りの駅などを「ざっくりと」調べ、わからないことがあったらあえて調べずにとりあえず現地の人に尋ねる、というふうに積極的に英語を話す機会を自分たちで作ってくことができました。また、今回のツアーでは現地のツアーに参加するなど、ガイドさんの話を聞く機会が多くありました。もちろんガイドさんの話は全て英語でした。私はガイドさんの話をほとんど聞き取ることができず、聞こえたとしても単語がちらほら聞こえてくる程度で、自分の英語の実力を痛感し歯がゆさを感じました。そしてもっともっと自分の英語力を磨き、レベルアップしてまたオーストラリアに訪れたいと強く思いました。このツアーでの経験や感じたことを忘れずにこれからも頑張っていきたいです。

長尾さんベストショット!

学生たちの成長を感じる旅

広大生協講座担当職員　谷本　頼亮さん

シドニー異文化体験ツアーに参加した学生たちは、日本では経験できない多くを体験し、成長したと思います。私が共に過ごした期間はシドニーツアーの1週間という短いものでしたが、それは自信を持って言えます。

シドニー空港に到着するとすぐにグループ行動が始まり、以降は自分たちで行動しなくてはいけません。不安そうにしている学生を見て大丈夫かなと心配になったことを覚えています。しかしロックスツアーや現地大学生との交流などのアクティビティや、グループ行動で多くのことを体験する中で、彼らは自ら話しかけ、学生たちは英語でコミュニケーションをとります。うまく伝わらなかったり、聞き取れなかったりすることもありますが、シドニーの人々の温かい対応に後押しされ、何度も挑戦します。そして、自分の英語が相手に伝わり、聞き取れたとき、それは日本では得るものとは違う、英語の楽しさと自信になります。様々な経験を通じ、ツアーの終盤になると、明日はこんなことをしよう！とグループ行動を再検討し、全力で異文化を感じていました。

何かを得ようとする人、変えようとする人に必ず答えてくれる、そんなツアーだと思います。英語力だけではなく、コミュニケーション力を養うことのできる異文化体験ツアーだからこそ、学生たちの成長を感じることができたのだと思います。

今回の旅を契機として、さらなる飛躍と広がりを

広大生協講座担当職員　臧　博韵 さん

ツアーへの参加を決意した理由は千差万別。まだ一度も行ったことのない海外に行ってみたかったから、親や先輩に勧められたから、長期留学の足掛かりとして。決意した理由はそれぞれ違うけれど、全員が、日本ではできない初めての体験がぎゅっとつまった濃密な8日間をシドニーで過ごしました。建国の歴史を感じるロックスでのツアー、オーストラリアの食文化に触れ、全員が盛り上がった持ち寄り夕食会、大学では同世代の大学生と歓談し、ユダヤ博物館ではサバイバーの話を聞きました。盛り沢山の日程の中で、各々が自分なりのチャレンジを繰り返し、時には気がくじけそうになりながら、時にはまわりの人々の助けを得て、再び奮闘し、そこから自信や勇気、次の一歩に踏み出すための悔しさと唯一無二の学びをつかみとることができました。帰りのシドニー空港から飛び立った羽田行きの飛行機内で、学生同士が「漠然としているけど、このツアーで何かが確実に変わった。」「また絶対シドニーに来たい」「次はドイツに行きたい」と話している声を聞くことができました。今回のツアーを契機として、ひとりひとりがこれからの大学生活や人生の中でさらなる飛躍と広がりを求めて挑戦していったのなら、これに勝る喜びはありません。持ち寄り夕食会でみんなが描いてくれた似顔絵は私の宝物です。みんなの前途洋々な未来がとても楽しみです